※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）標準古典 A	単位数	１単位	年次	３年次前期
使用教科書							
副教材等	「わかる・読める・解ける　key&point　古文単語３３０」桐原書店 「徹底演習 新しい共通テスト 国語対策問題集』古典２４」桐原書店 「新明説総合古典文法」尚文出版「新明説漢文」尚文出版 「国語便覧」数研出版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多様な時代、ジャンルの作品に触れ、幅広い知識と読解力を身につける。
分量的にも、内容的にも高度な文章に挑み、高度な読解力を身につける。
問題演習を通して、実践的な応用力を身につける。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前	・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 ［教材］ 「方丈記」 「むぐら」 「夜の寝覚め」 「讃岐典侍日記」	a：本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 b[読]：作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、登場人物の心情や態度の表現について正確に捉えたうえで的確に評価している。 c：語の識別についての文法的知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	話から読み取れる教訓や人生の知恵について理解する。 ［教材］ 「捜神記」 「六朝詩人群像」 「珊玉集」 「三戒」「永某氏之鼠」 「隋唐嘉話」	a：文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 b[読]：文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 c：句法の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。			

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　0　）時間

・読むこと　…　（　35　）時間